

よねざわ

第100号

発行／米沢市議会  
米沢市金池5-2-25 ☎22-5111(代)  
発行年月日／平成19・5・1

# 市議会だより



## 万歳の松

明治14年10月3日明治天皇東北ご巡幸の際の御小憩地である桑山字向原（旧万世小学校跡地）を永く後世に伝えるために、明治22年市町村制（梓山、桑山、堂森、金谷、片子の5ヶ村が合併し万世村となる）を期に、記念樹として青松一株が植えられました。それが万歳の松です。

### 平成19年3月定例会

|                                  | ページ |
|----------------------------------|-----|
| ◆3月定例会の総括 .....                  | 2   |
| ◆代表質問 .....                      | 3   |
| ◆常任委員会の審査から .....                | 8   |
| ◆予算特別委員会の審査から .....              | 10  |
| ◆よねざわ市議会だより<br>第100号までのあゆみ ..... | 12  |
| ◆請願の結果 .....                     | 14  |

< 第100号記念号 >

## 平成19年度一般会計予算

312億600万円を可決

対前年比2.5%増



平成19年3月定例会は、1日から23日までの23日間の会期で開きました。

初日の本会議は、今年で29回目となる恒例の和服着用の「きもの議会」で開会しました。はじめに報告案件1件を了承、諮問案件1件について同意した後、市長から平成19年度の市政運営方針の説明がありました。

5日と6日には、市政運営方針に対して、5会派の代表質問が行われ、議案37件及び請願3件を各委員会にそれぞれ付託しました。

7日には、総務常任委員会、民生常任委員会を、8日には産業建設常任委員会、文教常任委員会をそれぞれ開き、議案及び請願について審査を行いました。

9日から19日までの間に、予算特別委員会を開き、補正予算7件については、9日に審査を行い、13日の本会議で原案の通り可決しました。また、平成19年度の各会計予算については、5日間にわたり一般会計予算（312億600万円）を中心に特別会計予算10件（276億5582万円）と企業会計予算3件（110億5565万円）のあわせて14件について審査を行いました。

15日の本会議では、追加議案1件を上程し、産業建設常任委員会に付託しました。

19日には、産業建設常任委員会を開き、議案について審査を行いました。

最終日（23日）の本会議では、各委員長報告が行われ、19年度予算案件などの議案31件を、すべて原案のとおり可決しました。

また、請願3件については、採択1件、不採択1件、継続審査1件となりました。

最後に、議員発議の意見書2件、米沢市議会委員会条例の一部改正について及び米沢市議会会議規則の一部改正についてを可決し、3月定例会を閉会しました。



# 代表質問

「市政のここが聞きたい」

3月定例会では5・6日に各会派の代表が市長の市政運営方針に対し質問を行いました。ここでは、1時間30分～2時間の持ち時間から主なものを取り上げております。詳しくは6月に会議録ができますので、情報公開コーナー（4階）、市立図書館、米沢市議会ホームページをご覧ください。

## 翔政会



活力ある産業のまちづくり

しょうせいかい  
翔政会代表 鳥海茂太 議員

中心市街地の活性化対策について

〔市長〕 空洞化が進む中心市街地を再生していくことについては、まちづくり総合計画の中

でも重点施策に位置づけていることから、できるものから取り組んでいく必要があります。また、今後進展していく人口減少社会に対応するためにも、中心部に人々を呼び戻しながら市街地の拡散を抑制していくコンパクトシティを目指したまちづくりを計画的に進めていく必要があると強く認識しているところです。

現在、企画調整部が事務局になって今後の中心市街地活性化策のあり方を検討しているところですが、買い物客が訪れやすい商店街の形成、観光・交流のまちづくり、若者から高齢者までが、まち中に集える環境整備、公共機能の中心市街地への配置といった視点で進めています。平成19年度には、商工会議所等を交えてより具体的な方向性を

検討する場を設け、新法に基づく基本計画の策定が可能かどうかも含めて、これからの中心市街地の再活性化を探っていく予定です。

## 平和通りの

## 一方通行解除は

平和通りの一方通行解除はできないのか。

〔市長〕 一方通行解除など、道路交通規制変更の決定権は県公安委員会にあることから、その可能性を米沢警察署に確認したところ、現在の一方通行については絶対解除できないというのではなく、ハード、ソフト両面での道路交通の安全と円滑な交通が確保できれば可能であるとの御意見をいただいたところです。現行の規制内容を変更する手順もあわせてお伺いしたところ、まずは地元商店街や自治体等か

らの要望書の提出を受け、所轄警察署において交通量調査などの現状把握と消防団体との十分な協議を行い、県公安委員会に対して所轄署の意見書を提出する必要がありますとの回答でした。

平和通りの一方通行解除については、平成8年11月に中央通り一番街商店街から、本市議会に請願がありました。道路幅員の不足や、段ずれ、バスベイ（※）の取扱い、交差点改良や除雪などの未解決の問題が障害となり、また、通りに面する二つの商店街の意見が賛成、反対に分かれており、その環境が整っていないことから実現しなかった経緯があります。いまだ解決していない問題も多く存在し、今後の研究課題にしたいと考えています。

税源移譲を含む三位一体改革による本市における財政的影響は

〔総務部長〕 本市における財政

的な影響は、平成19年度予算では、税源移譲は約7億円程度を予測しています。ただし、税源移譲分は全額普通地方交付税の基準財政需要額に算入されることから、税源移譲分の額の多寡は、理論上財政的に影響ないことになっております。一方、国庫補助負担金の縮減分が同額、普通交付税の基準財政需要額に算入されれば、財政的な影響はないこととなりますが、現実的には地方交付税における基準財政需要額そのものが抑制されていることから、平成19年度の財政見込みでは、本市にとつて相当大きな影響があるものと予想しています。

※バス専用の停車スペース



## 市長は広域合併を 目指すのか



自公クラブ代表 伊藤 亮一 議員

市長就任以来、どんなまちづくりを目指したか。

〔市長〕 単に人が住んでいれば良いのではなく、心の交流があるまち、まち中に人を呼び戻して特徴ある個性的なまちづくりを目指しています。また、全国に情報発信することにより新たな交流を創出し、本市の活力を高める必要があると考えています。

市長は、為政者としてリーダーになり得たか。

〔市長〕 この3年間、市民の皆様とともに地域の身近な課題から市の将来に関わる課題を解決し、市民の幸せのためリーダーシップを発揮して誠心誠意取り組んできました。今後も地域資源を掘り起こし、市民と行政の協働によるまちづくりや行政の改革による健全な財政基盤づくりを行っていきます。

### 広域合併の考えは

市長は広域合併を目指すのか。

〔市長〕 環境が整わなければ協議も進まないというデリケートな問題であるので、まずは置賜

各市町の意向を率直に聞くことが大事だと考えています。平成19年度は、合併問題を具体的に進めるか否かを判断する山場となる年と考えられており、積極的に情報交換を行い、合併に向けて動き出せるかどうか見極めていきたいと考えています。

財政規模に応じた給与体系や適正な職員数について。

〔総務部長〕 給与に関しては、本市の財政状況を十分勘案しつつ、県人事委員会の勧告を参考にして地域の実情を反映させることに心がけます。適正な職員数に関しては、他自治体の状況を踏まえるとともに、各課における適正な人員配置のあり方について検討を行いながら、平成22年度までに平成17年度と比較して55人以上の職員を削減することとしています。

景気対策として重点的な財政運用により公共事業を喚起できないか。

〔企画調整部長〕 民間の需要を喚起するための公共事業の必要性は認識していますが、三位一体の改革等の影響により、本市の財政も相当厳しいものになっています。

公共事業に市が単独で取り組む場合には、その財政負担を全

て後年度に残し、将来の財政見通しを圧迫することになるため、公共事業枠を増設するのは困難だと考えます。しかし、予算化した事業の早期着工を促進することにより、経済効果を発揮できるように努めていきます。

健全な青少年育成を目指す教育のあり方について。

〔教育指導部長〕 全国的にいじめの問題が大きく取り上げられ、本市でも何件かのいじめがありその指導に当たっています。教育関係者は、子どもに寄り添って声を聞き、子ども達がしっかりと生きた生きる力を身につけさせてやる必要があります。

学校では、学校評議員制度を設け、より一層地域に開かれた学校づくりを推進しており、今後とも家庭や地域と連携して、子ども達の健やかな成長を図っていく考えです。

本市農業振興の基本姿勢について。

〔産業部長〕 品目横断的経営安定対策、米政策改革推進対策、農地・水・環境向上支援対策を農業政策の中心に位置付けて、本市農業振興を図っていきます。

## 議会

### カレンダー

▼1月▲

9日 各派代表者会  
11日 議会だより編集委員会  
12日 議会運営委員会  
16日 各派代表者会  
17日 議会だより編集委員会

18日 常総市から視察  
19日 天童市から視察  
22日 議会運営委員会  
23日 文教常任委員会  
24日 市政協議会

25日 産業建設常任委員会  
26日 総務常任委員会  
26日 議会運営委員会  
26日 各派代表者会

26日 民生常任委員会  
30日 1月臨時会  
30日 市政協議会  
30日 各派代表者会

1日 長崎市から視察  
2日 登米市から視察  
15日 各派代表者会

15日 議会運営委員会  
16日 市政協議会

16日 山形県市議会議長会事務局長会議（米沢市）  
20日 総務常任委員会  
20日 産業建設常任委員会  
21日 民生常任委員会  
21日 文教常任委員会

## 新年度の市政運営の 重点課題と施策の方向性は



おうめいかい  
嚶鳴会代表 高橋 嘉門 議員

**地方経済が停滞し、社会格差が拡大する中で、地方自治体の財政も、厳しさを増しているが、平成19年度の市政運営の重点課題は何か。**

**（市長）** 1つには、市民力を活用したまちづくりを推進するための市民と行政の協働のまちづくり体制の確立です。

2つ目は、活力のあるまちづくりを推進するための産業の振興と雇用の拡大、定住促進、交流人口の拡大などです。

3つ目は、簡素で効率的な行政運営と、市民満足度の高い行政サービスを展開し、市民生活の向上を図るための行財政改革の推進です。

**財政健全化対策と、将来の広域合併への考えは**

**（市長）** 今後の財政見通しは、歳入では、税収入の伸びは期待できず、地方交付税も抑制傾向にあることから、集中改革プランに基づき、新たな歳入の確保と、徹底した歳出の見直しを図ることで、財政の健全化に努め、多様化する市民ニーズに的確にこたえていく必要があると考えています。

行政事務の広域連携は、重要な課題となってくるものと考えています。広域合併については、置賜各首長との懇談を実施して

いますが、今後総合的に判断していくべきものと考えています。

**県内トップの製造品出荷額を誇る本市の工業振興計画の方向性は**

**（産業部長）** 本市の製造品出荷額は7516億円で東北第4位、粗付加価値額は1825億円となっておりですが、加工組み立て関連産業が多く、多品種少量生産であることや、海外との競争激化などで、付加価値を上げることが困難な状況になっています。振興計画では、付加価値向上につながる施策推進を基本に、ものづくり環境整備や企業群の育成を図っていくこととしています。

**新たな経営安定対策が始まることにより、過剰作付けや転作非協力が拡大するのではないか。**

**（産業部長）** 先日の地域水田農業推進協議会の中で、米価維持のため生産調整実施は重要であると確認されたところであり、市長名も併記して、協議会と共に、参加農業者に対し強く協力要請を行うことにしています。

**まちづくり活動の拠点となるコミュニティセンター未設置地区への早急な取組が必要ではないか。**

**（教育長）** 未設置の松川、中部地区ですが、コミュニティづくり、地域づくり推進や、他地域との平等性の観点から、厳しい財政状況を踏まえ、総合計画第2期実施計画に搭載できるように検討したいと思っています。

**不審者、いじめの実態と、地域社会を巻き込んだ対応策は**

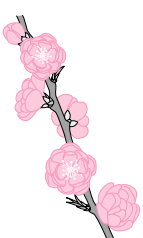
**（教育指導部長）** 平成18年4月から、不審者声かけ事業は16件発生しており、学校だけでは解決できず、教職員、PTA、地区の方々と安全マップを作成し、パトロールや安全ボランティアの協力をいただいています。いじめ問題は、40件で、解決はしたものの、継続的指導が必要な案件があります。早期発見の確な対応を指導しています。

初期対応で、先生方が丁寧に取り扱い、個人や担任や学年だけでなく、学校の問題として取り組み、指導内容は保護者に連絡報告し、一緒になって解決できるような方策をとっています。



1月28日開催の  
いじめゼロサミット

\*\*\*\*\*



|         |        |          |           |                    |       |           |         |         |           |         |         |           |          |         |       |
|---------|--------|----------|-----------|--------------------|-------|-----------|---------|---------|-----------|---------|---------|-----------|----------|---------|-------|
| 28日     | 23日    | 20日      | 19日       | 15日                | 14日   | 13日       | 12日     | 9日      | 8日        | 7日      | 6日      | 5日        | 1日       | 26日     | 22日   |
| 議会運営委員会 | 各派代表者会 | 本会議（最終日） | 産業建設常任委員会 | 予算特別委員会（特別会計・企業会計） | 市政協議会 | 産業建設常任委員会 | 議会運営委員会 | 文教常任委員会 | 産業建設常任委員会 | 民生常任委員会 | 総務常任委員会 | 本会議（代表質問） | 本会議（招集日） | 議会運営委員会 | 市政協議会 |





## まちづくりの基本は

## 「市民参加の市民自治」によって

かくしん  
革新クラブ代表 佐藤 伊左エ門 議員

## 革新クラブ

平成19年度の市長の市政運営方針の中で「市民が参加する市政」、「市民と行政の協働によりまちづくりの体制ができていく」と「さらに、「今後より一層、市民と行政の協働の取り組みを活かし、市民力の活用によるまちづくりを推進していく」と述べているが、その市民との協働のまちづくりが、今どのように展開されて、どのような成果が芽生えているのか。

**〔市長〕** 現段階における市民参加の状況は、各種委員会における公募枠で選考された委員の積極的な発言や、市長への手紙で提案された政策の実施に代表されますが、具体的に進んでいると考えます。

また一方では、行政が自ら進んで市民と一緒に地域の課題を考え、解決するための政策づくりを進めるために職員がもつと地域に入っていく、職域にとらわれずに生きた情報を市民に提供して、一つの政策提言をまとめていくことが大事であると考えています。

市長は、市政運営方針の最後に、「米沢はもともとと伸びられる可能性を十分に有しています。あとは私たちの頑張り次第であります。」と述べている。私は、管理職がどう考え、ど

のようにして本市を作っていくかがポイントであると思う。職員が外に出て、大衆の中に入って取り組む方向性を見出していくのも、管理職の役割と責務ではないか。

**〔市長〕** 全体の奉仕者として市民のために役立つという高い志を持つために、市長研修で毎回職員に言っているのは心力行政をしたいということ、心の力と書いて心力行政をするということです。当然、管理職が率先垂範していかなければならないと考えています。

### 観光産業の

### 充実策は

本市を訪れる観光客は、通過型が多く宿泊客が少ないようだ。例えば製造業や他の産業が落ち込んだとしても、観光産業でその分をカバーできる。充実した観光であれば若者が定着し、人口も増加する。

また、グリーンツーリズムやエコツーリズムなどに取り組みの幅を広げて一泊、二泊する観光づくりをめざす不断の努力が必要であると思いがどうか。

**〔産業部長〕** 近年は旅行形態が変化し、交わる、体験する、学

ぶ観光になってきており、ゆっくり滞在してそのまちの生活を体験するグリーンツーリズムなど体験交流型の観光が脚光を浴びています。

さらに、本市ならではのおいしい食べ物や、四季を通じての特産品に非常に関心が高まっていますので、関係団体と連携し、商品の開発とブランド化に向け推進しています。

観光産業は総合産業であり、経済効果はもちろんのこと、市民生活にも大きな影響を有するものです。「住んでよかった、住んでみたいまち」と言われるように、市民が誇りの持てるまちづくりを進めていく考えです。



米沢牛とおたかぼっぼ

### 議会を傍聴してみませんか

本会議、委員会ともに、受付で住所、氏名などを記入するだけで、どなたでも傍聴できます。お気軽にお越しください。次回の定例会は6月開催になります。日程が決まりましたら、米沢市ホームページに掲載します。ホームページには、本会議の会議録、市議会の概要、市議会だよりなども紹介しています。くわしくは議会事務局へお問い合わせください。 TEL22-5111（内線5623・5624）

<http://www.city.yonezawa.yamagata.jp/>

### 市議会の番組放映について

市議会本会議の様子は、NCV（22チャンネル）にて放映しておりますので、ご都合のつく方は、ご覧ください。

## 人間らしく暮らせる米沢に —まちづくり・産業・教育・医療について



にほんしやうさんとうしぎだん  
日本共産党市議団代表 白根澤 澄子 議員

市民と行政の協働のあり方を定めるまちづくり条例の制定に当たっては、住民自治や自治体のあり方、住民が人間らしく生活する基準とその保障について議論、検討することが必要ではないか。

また、協働という名で行政の肩代わりのために市民を動員すべきでないと考えるがどうか。

〔市長〕 市民と行政が一体となつてまちづくりを進めるために、平成19年度に条例化の具体的作業を行い、平成20年度の制定、施行を目指して進めてまいります。

協働の名のもとに市の役割を市民に肩代わりさせるようなことはあつてはならず、条例制定作業の際には、市民の皆様との十分な議論が必要だと考えています。

県は、県内での有機ELの生産と雇用創出を目指す有機エレクトロニクスバレー構想に、7年間で43億円を投資することにしており、本市もこの事業に補助金を支出している。

競争の激しい分野であり、目的が達成できるかどうか分からない事業への税金支出は見直すべきではないか。

〔産業部長〕 県では、一般照明向けに特化して、有機ELの製

造企業を誘致すべく活動を行つており、地域間競争が厳しい状況であることも事実ですが、今後とも支援体制を継続していくことが必要と考えています。

### 全国学力テストの 個人情報保護は

全国一斉学力テストは、子どもと学校間の競争を激化し、序列化していくことになる。

また、学力テスト委託の民間企業に個人情報が集積し、不正利用や情報流出が心配されることから、学力テストを実施しないか、実施するとしても無記名にできないか。

〔教育指導部長〕 全国学力学習状況調査には、米沢市教育委員会としても参加をし、本市における教育の改善を図るための資料として活用したいと考えています。

個人情報の管理、結果の公表、記名などにつきましては、慎重に進めてまいります。

米沢市立病院は、現在の地方公営企業法の一部適用から全部適用に経営形態を移行することを検討している。そのねらいは経済効率を追求し、経費の削減

を行うことであり、患者負担の増加や、職員の労働条件が低下することが心配される。

市民や患者の声を生かした経営改善が望ましいのではないか。

〔市立病院事務局長〕 地方公営企業法を全部適用することは、病院独自の経営方針が立てられること、人事権が確立され迅速な対応が図られることなどの利点があります。

全部適用に移行しただけで直ちに赤字が解消できるものではありませんが、新たに設置される病院管理者のリーダーシップのもと職員が一致協力して業務に当たることが経営健全化につながると理解しています。



米沢市立病院

### 1月臨時会

平成19年1月臨時会を、1月30日に開会し、次の議案を審議し、了承、原案のとおり議決しました。

- 専決処分事件の報告について
- 平成18年度米沢市一般会計補正予算（第4号）



# 常任委員会の審査から

3月7・8日に開かれた常任委員会から、質疑の主なものをお知らせします。

ではありませんが、当該地区に特化して、健康増進に関わる事業や介護予防事業等を実施してまいります。

## 産業建設

## 総務

▼米沢市一般職の職員の給与に関する条例及び米沢市企業職員の給与の種類及び基準に関する条例の一部改正について

本案は、人事院勧告の内容に準じて、管理職員の職務・職責を端的に反映するため、管理職手当を定率制から定額制に移行するとともに、管理職員特別勤務手当の額の改定等を行うものとするものです。

〔委員〕この改正によって、管理職手当は年間総額どれくらい増額になるのか、また、対象人数は何人か。

〔総務課長〕市立病院医療職を除き、現在の部長級については対象人数が12名で年間約100万円増額に、課長級については対象人数が42名で年間約350万円増額になると見込んでおります。

▼米沢市副市長の定数を定める条例の設定について

本案は、地方自治法の一部改正により、副市町村長の定数は、各市町村の条例で定めることとされたことから、本市の副市長の定数を定めようとするものです。

〔委員〕助役と副市長の機能の違いについて

〔総務課長〕従前の「助役」は市長の補助機関として位置づけられていましたが、今回の地方自治法の改正により、市長のマネジメント機能の強化が図られました。

副市長の職務としては、政策及び企画についてより積極的な役割を担うことになり、また、長固有の権限の一部について委任を受けることが明確化されたこと、さらに、収入役が会計管理者に見直されたことにより、トップマネジメントの補助的な機能が副市長に一元化され、政策の具現化について、より迅速

## 民生

化が図られることになりました。〔委員〕副市長の人数を1人にした理由について

〔総務課長〕現在の助役は1人であり、また、県内各市の動向も勘案した結果、1人といえました。

▼米沢市国民健康保険診療施設設置条例の廃止について

本案は、田沢地区、関町地区及び大平地区の地域住民の診療業務を行っている田沢診療所及び移動診療所を利用する患者数が減少していること、及び両診療所の医師のなり手がいないことから、両診療所を廃止しようとするものです。

〔委員〕診療施設廃止に伴い、地域住民が通院するための交通手段の確保は

〔健康福祉部長〕市民バスや他の交通手段についての要望は、



移動診療車

実現するには困難な現状ですが、引き続き内部で検討していく考えです。

〔委員〕今後、当該地区住民の健康を守るには、現在の保健師数で十分な対応ができるのか。

〔健康課長〕乳幼児や高齢者世帯への訪問活動の増加、介護予防事業などの業務が増大しており、保健師の体制は十分な現状

▼米沢市下水道条例の一部改正について

本案は、下水道法施行令の一部改正に伴い、除害施設（※1）の設置等に関する基準を一部変更しようとするものです。

〔委員〕特定事業場（※2）における排水の水質検査の実施状況は。

〔下水道課長〕本市には48の特定事業場の届出がありますが、特定事業場では、自主的な検査を毎月1回実施し、その報告を受けております。

また、本市独自の特定事業場に対する水質検査の取り組みとしては、ISO14001の認証取得に伴い、平成19年度には特定事業場の排水検査を完全実施する予定です。

▼米沢市宮陸上競技場全天候型改修工事請負契約の締結について

本案は、老朽化により機能が低下した現在の陸上競技場のト



## 文教

ラック等を全天候型に改修するため、入札を行い、仮契約を締結した、日道・太田・置賜特定建設工事共同企業体と本契約を締結しようとするものです。

【委員】 契約の相手方である日本道路株式会社の上競技場の改修工事実績は、

【建設部長】 日本道路株式会社は、主に道路舗装での事業展開をしている会社ですが、この度の指名に際し、全天候型スポーツ施設について8000㎡以上の舗装経験を積んでいる業者であることを公募条件としており、経験は十分にある会社と考えています。

### ※1 除害施設

工場・事業場からの排水を下水道に流す場合には、下水道施設の機能を妨げないようにあらかじめ、有害物質等を取り除き、一定の水質基準以下まで処理しなくてはなりません。このために必要な施設を「除害施設」といいます。

### ※2 特定施設と特定事業場

特定施設とは、水質汚濁防止法または、ダイオキシン類対策特別措置法に規定された水質基準対象施設を言います。この施設を有する工場や事業場を「特定事業場」と呼び、一般の事業場と区別して届出の内容や水質規制等に違いがあります。

### ▼米沢市コミュニティセンターの設置及び管理に関する条例の一部改正について

本案は、農林水産省の補助を受けて設置した旧愛宕多目的センター及び旧山上基幹集落センターについて、平成18年4月1日から、それぞれ愛宕コミュニティセンター及び山上コミュニティセンターに名称が変更されていることから、両施設の各部屋の名称についても、コミュニティセンターにふさわしいものに変更しようとするものです。

【委員】 現在の部屋の名称を変更する理由及び旅館客室名の印象を与える名称でなく、社会教育・生涯学習の施設としての目的や活動実態を端的に表すような部屋の名称にすべきでないか。

【社会教育課長】 部屋の名称は、当初、補助の建設経緯から農林サイドの事業目的を表したものでしたが、地域から強い要望があったため、農林サイドと協議の上変更するものです。コミュニティセンターの部屋は多目的に使用されるものですので、地域住民の要望を尊重してまいりたい。

## 3月定例会で次のことが決まりました

- 米沢市国民保護計画の報告について
  - 人権擁護委員候補者の推薦について
  - 米沢市固定資産評価審査委員会委員の選任につき、その同意を求めるについて
  - 米沢市一般職の職員の給与に関する条例及び米沢市企業職員の給与の種類及び基準に関する条例の一部改正について
  - 米沢市特別職の職員に対する退職手当支給条例の一部改正について
  - 地方自治法の一部改正に伴う関係条例の整備等に関する条例の設定について
  - 米沢市副市長の定数を定める条例の設定について
  - 町及び字の区域及び名称の変更について
  - 米沢市特別会計条例の一部改正について
  - 置賜広域行政事務組合規約の一部変更について
  - 米沢市総合計画審議会条例の一部改正について
  - 米沢市国民健康保険診療施設設置条例の廃止について
  - 米沢市環境審議会条例の一部改正について
  - 松川堰組合規約の一部変更について
  - 米沢市道路占用料徴収条例の一部改正について
  - 米沢市下水道条例の一部改正について
  - 米沢市水道事業等の設置等に関する条例の一部改正について
  - 米沢市コミュニティセンターの設置及び管理に関する条例の一部改正について
  - 平成18年度米沢市一般会計補正予算（第5号）
  - 平成18年度米沢市国民健康保険事業勘定特別会計補正予算（第3号）
  - 平成18年度米沢市介護保険事業勘定特別会計補正予算（第3号）
  - 平成18年度米沢市と畜場及び食肉市場費特別会計補正予算（第2号）
  - 平成18年度米沢市下水道事業費特別会計補正予算（第3号）
  - 平成18年度米沢市水道事業会計補正予算（第1号）
  - 平成18年度米沢市立病院事業会計補正予算（第2号）
  - 平成19年度米沢市一般会計予算
  - 平成19年度米沢市国民健康保険事業勘定特別会計予算
  - 平成19年度米沢市老人保健医療費特別会計予算
  - 平成19年度米沢市介護保険事業勘定特別会計予算
  - 平成19年度米沢市と畜場及び食肉市場費特別会計予算
  - 平成19年度米沢市青果物地方卸売市場費特別会計予算
  - 平成19年度米沢市下水道事業費特別会計予算
  - 平成19年度米沢市農業集落排水事業費特別会計予算
  - 平成19年度米沢市物品調達費特別会計予算
  - 平成19年度米沢市南原財産区費特別会計予算
  - 平成19年度米沢市三沢東部財産区費特別会計予算
  - 平成19年度米沢市水道事業会計予算
  - 平成19年度米沢市立病院事業会計予算
  - 平成19年度米沢市宮駐車場事業会計予算
  - 米沢市宮陸上競技場全天候型改修工事請負契約の締結について
- 以上の議案は、すべて承認、同意、原案どおり議決しました。

## 予算特別委員会

# 平成19年度予算を中心に 21議案を審査

### 一般会計

### 特別会計

### 事業会計

予算特別委員会は6日間にわたり開催し、平成18年度補正予算7件と平成19年度当初予算14件（一般会計1件、特別会計10件、事業会計3件）のあわせて21件を審査し、原案のとおり可決すべきものと決まりました。

その審査の中でありました平成19年度予算における質疑の主なものをお伝えします。

〔委員〕 米沢らしい歴史的、文化的なものを感じられるような町並みを、沿道の商店街のみならずと共につくっていく時期であると考えるがどうか。

〔市長〕 行政も住民も一緒になつて考え、米沢らしさが感じられる景観をこれからつくっていくことが大事であると思っております。



市内の商家のたたずまい

### 本市独自の 子育て支援策は

〔委員〕 結婚して子どもを生ま育てやすい環境をつくるため、本市独自の子育て支援をすべきと思うがどうか。

〔こども課長〕 本市独自の支援策としては、延長保育、障がい

児保育などを実施しておりますが、国が実施している少子化対策などを組み合わせながら、子育てしやすい環境づくりに努力していきたいと考えております。

〔市長〕 日本全体の人口が減っている中で、本市の人口が増えているけば、それは政策の妙ということですので、他の市町では思いつかないようなことをやってみたいと思います。

〔委員〕 本市の人口は減少傾向にあるが、これに歯止めをかける方策はとらないのか。

〔市長〕 人口減少による様々な影響が懸念されますので、人口の減少傾向に歯止めをかけ、少しでも増加傾向を目指していかなくてはならないと思っております。若い人たちの出会いの場づくりや子育て支援など、総合的な観点から様々な手立ての検討をしていきたいと考えています。

〔委員〕 現在進められている中学校給食検討委員会においては、全国の先進的な事例を提供し、議論をしやすい状況をつくる必要があると思うがどうか。

〔教育指導部長〕 可能な限り調理方式などの情報、資料を提供してまいりたいと思います。

〔委員〕 斎場の待合室については利用者が混雑しており、他の遺族と接触しないよう配慮すべきだと思うが、今後改良する考えはないか。

〔環境生活課長〕 利用者の人数に応じて待合室を準備していますが、必ずしも使い勝手が良いとは思っておりませんので、次期の実施計画を策定する中で検討したいと思います。

〔委員〕 市民文化会館は建設以来、相当年数を経て老朽化しているが、今後の施設利用に関する考え方を聞きたい。

〔教育管理部長〕 現段階では、リニューアル、施設改修の手立てを講じながら、今後も現施設を使用していきたいと考えております。



市民文化会館

〔委員〕 小中学生が携帯電話を持つことは必要である反面、危険性や問題点も指摘されているが、本市での状況はどうか。

〔教育指導部長〕 本市での事故等については報告を受けておりません。使用時の注意やモラルの育成については、本来は家庭の責任においてなされるべきであらうと思いますが、現時点では、学校でも担うべきものと考えております。現在、中学校では携帯電話の危険な点について授業を通して指導をするともに、情報モラルの学習システムが組み込まれているパソコンを利用している育成指導にも取り組んでいるところです。

〔委員〕 市庁舎の来客用駐車場が狭隘で、来庁者に不便を掛けているので、市民サービスのためにも、市役所前の噴水広場に駐車場をつくることはできないか。



噴水広場

〔財政課長〕 天候や市の行事等によつては混雑する日もありますが、当分は現在の駐車スペースで対応したいと考えております。噴水広場の利用等については、今後、検討してまいりたいと思います。

## 民間施設を指定避難所にできないか

〔委員〕 本市では、公共施設を指定避難所としているが、指定箇所数がアンバランスで、地域によっては高齢者、障がい者が歩いていけるような状況になっていない。民間の施設も利用して指定避難所を確保すべきであると思うがどうか。

〔危機管理主幹〕 基本的には公的施設を避難所としておりますが、民間施設を指定することについて、今後検討していききたいと思います。

〔委員〕 障害者自立支援法施行による福祉サービス利用者に対して、本市独自の負担軽減策を導入できないか。

〔健康福祉部長〕 本市内部で検討しておりますが、厚生労働省が平成18年末に示した『障害者自立支援法の円滑な運営のた

めの改善策』の中に、本市で検討しております独自の軽減策も含まれておりましたので、当面はそれを運用してまいります。

〔委員〕 学校建設は、耐用年数老朽化及び耐震性の調査に基づき、長期的な整備を図るべきだと思うがどうか。

〔教育管理部長〕 長期的な計画により整備を図っていく必要があると認識しております。学校建設だけでなく、教育施設全体の整備についての指針が必要だと思っておりますので、その策定に今後取り組んでまいりたいと考えております。



耐震改修を待つ関根小学校

〔委員〕 本市における高層マンションの火災時における消防用はしご車の対応及び防火指導へ

の取り組みについて聞きたい。

〔消防第一副署長〕 本署の消防用はしご車に対応できるのは、10階が限度です。高層建物については、消防法により消防用設備の設置義務が定められており、また、安全面については防火管理者の選任や避難訓練の実施などが義務付けられておりますので、それに基づき行政指導を行っているところであります。



消防用はしご車

〔委員〕 全自治体の首長を対象にした新聞社のアンケートが平成19年2月に実施され、理想のリーダーとして上杉鷹山がトップに挙げたが、これをチャンスのチャンとして捉え、鷹山サミットを開催すべきだと思うがどうか。

〔市長〕 そのような趣旨で、上杉鷹山記念まちづくりシンポジウムを2回行いました。さらに

盛り上げていくようなシンポジウムにしていきたいと思っております。

〔委員〕 姉妹都市である東海市の全中学校生が、毎年、本市を訪れているが、本市からもせめて年に1校くらいは、東海市を訪問するようにできないか伺いたい。

〔教育指導部長〕 姉妹都市交流については、小中学校をブロックごとに分け、学校の代表として、東海市、高鍋町、沖縄市をそれぞれ訪問しております。東海市からは、平成19年度に80名の招待を受けておりますので、各小中学校ごとに人数を割り振り、訪問の計画を立てております。

〔市長〕 東海市とは財政状況が異なりますので、同じ取り組みは出来ませんが、経費を掛けないで出来る交流の方法を考えたいと思います。

〔委員〕 図書館では、現在、様々な講座や古文書の展示を行っているが、本の魅力を住民に伝えるため、より一層企画拡大をすべきだと思うが、今後の事業展開について聞きたい。

〔図書館長〕 平成19年度に、初心者向けの古文書解説講座を開設したいと考えております。



市議会だより」

「よねざわ市議会だより」は、昭和58年8月1日の第1号発行から24年が経とうとしています。

よねざわ 第1号 発行/米沢市議会  
発行年月日/58・8・1

市議会だより

[illegible]

よねざわ 第5号 星野市議会  
星野市議会 第5号  
発行年月日/59・8・1

市議会だより

[illegible]

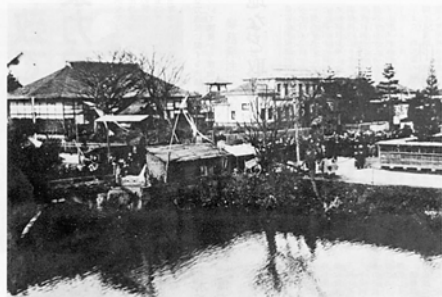
**第17号**（昭和62年8月1日発行）では、市制施行百周年シリズとして、表紙に明治22年4月1日の市制施行のときの市役所庁舎と議事堂の写真を使っています。建物は、南置賜郡役所から別棟を借り受けていました。明治22年6月に初の市議会議員選挙が行われ、30人が選出されています。任期は6年で、3年に一度半数を改選しています。

よねざわ

第17号

発行／米沢市議会  
米沢市議会事務局 電話 0993-22-1100  
発行年月日／62・8・1

市議会だより

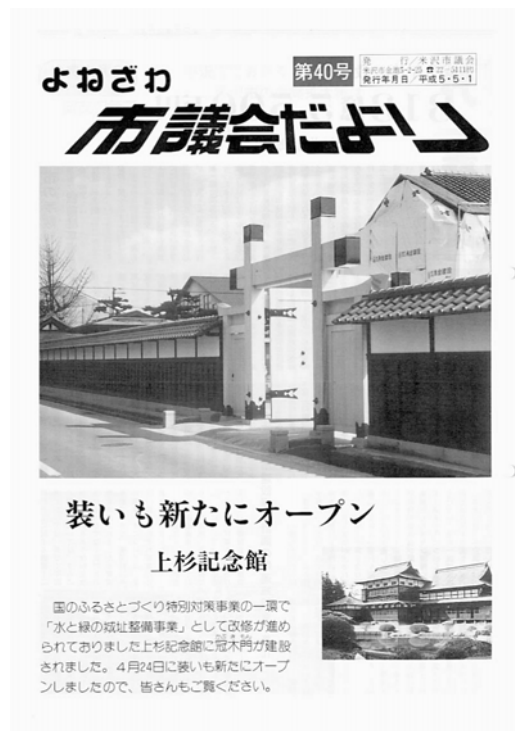
[illegible]

この号では、第47回国民体育大会の水泳競技会場となる米沢総合運動公園用地の3年計画の2年度目の取得、愛宕小学校用地の最終取得分の購入。広幡地区に運動広場を造成するための分担金を徴収する条例などが載っていました。

**27号**（平成2年2月1日発行）から**第35号**（平成4年2月1日発行）までの9回で、米沢の文化財シリーズとして紙本金地著色洛中洛外図、紙本著色厩図、山形大学工学部本館などを連載していました。また、**第36号**（平成4年5月1日発行）から**第38号**（平成4年11月1日発行）の3回シリーズで、べにばな国

**第35号**では、国体開催に要する経費について、総合運動公園の各施設、八幡原野球場、米沢市営球場、フェンシング、弓道の施設整備の経費で総額49億7035万9千円で、本番の経費を含めた全体で約61億円と載っています。

議会だよりの体裁がB5版からA4版に変わったのは、**第40**



号（平成5年5月1日発行）からでした。紙面が1段広くなったことで、写真なども大きく配置され、文字の大きさも8級から9級へと大きくなり、読みやすくなりました。

**第41号**（平成5年8月1日発行）から**第50号**（平成9年9月1日発行）までの表紙写真は、環境シリーズで、吾妻連峰の湿原、滑川大滝、米沢浄水管理センターなどを連載しています。初めて2色カラーとなったのは、**第45号**（平成6年8月1日発行）からです。1号おきの2色カラーで、**第55号**（平成9年2月1日発行）まで続きました。

**第45号**では、浅川地区への産業廃棄物処理施設建設に反対する意見書の提出、市街地のテト

ラクロロエチレンによる地下水汚染などが掲載されています。表紙写真のシリーズでは、**第51号**（平成8年2月1日発行）から**第55号**（平成9年2月1日発行）に地域文化活動シリーズでさいとやき、薪能、獅子踊り、米沢一刀流詩吟剣舞などを掲載しています。

**第52号**（平成8年5月1日発行）、**第53号**（平成8年8月1日発行）では、南部土地区画整理事業での減歩率が、ほかの区画整理事業での減歩率よりも高いということで、住民の合意が得られなかったことから、4月30日に市長が計画を白紙撤回し、これにいたる一連の不手際に関し、6月定例会で市長30%、助役20%、収入役10%の6ヶ月

**第56号**（平成9年5月1日）から**第63号**（平成11年2月1日発行）では、全号2色カラーとしています。

**第56号**（平成9年5月1日発行）から**第62号**（平成10年11月1日発行）の表紙写真では、21世紀に活躍する若人たちのシリーズとなっています。

表紙裏表紙がフルカラー印刷となったのは、**第64号**からです。また、2年に1度の議会改選時の臨時号を出すようになったの



間の給料の減額という形で責任を取ったこと。6億9450万円の旧サンホーユー敷地の取得価格が高すぎるとする議論、跡地利用の中央多目的広場の整備に関わる議論などが大きく取り上げられています。

**第66号**（平成11年8月1日発行）から**第73号**（平成13年5月1日発行）までは、手作業の伝統産業シリーズで、米沢織、相良人

は、**第65号**からです。

表紙写真のシリーズでは、**第**



形、成島焼、ちようちん、米沢太鼓、木地玩具、米沢打刃物、笹野一刀彫を掲載しました。

**第75号**（平成13年6月1日発行）から**第82号**（平成15年5月1日発行）までは、米沢の食のシリーズで、米沢牛、そば、雪菜、うこぎ、丸ナス、豆もやし、米沢鯉を掲載しました。

**第84号**（平成15年8月1日発行）から**第91号**までの表紙写真は、米沢の温泉シリーズでした。

**第93号**（平成17年8月1日発行）から**第100号**までの表紙写真は、巨木シリーズで、山上の大クワ、長町裏のエゾエノキ、西明寺のトラノオモミ、笹野の大コメツガ、上小菅観音堂のケヤキ、塩井神社のエノキ、長手天満神社の社叢林を掲載しました。



## 3月定例会で審議した請願の結果は次のとおりです。

### 採 択

#### ◆すべてのひとのワークルール確立をめざす意見書提出 方請願

(日本労働組合総連合会置賜地域協議会 議長 金子 浩)

### 不 採 択

#### ◆安心・安全な公務・公共サービス拡充を求めること について

(置賜地域労働組合総連合 議長 渡辺 豊)

### 継続審査

#### ◆学童保育所「たんぽぽクラブ」(北部小学校区)の移転 に伴う市有財産の貸与について

(鈴木 悦雄 外1名)

#### ◆すべてのひとのワークルール確立をめざす意見書

(衆議院議長、参議院議長、内閣総理大臣、厚生労働大臣あて)

#### ◆道路特定財源制度の確保及び道路整備予算の確保に 関する意見書

(内閣総理大臣、総務大臣、財務大臣、国土交通大臣あて)



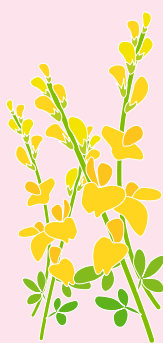
\*\*\*\*\*

### 市議会 6 月定例会 日程(予定)のお知らせ

- 6月11日 開会(本会議)
- 13日 一般質問
- 14日 一般質問
- 18日 一般質問
- 19日 総務文教常任委員会
- 20日 民生常任委員会
- 21日 産業建設常任委員会
- 22日 予算特別委員会
- 27日 最終日(本会議)

※なお、請願の提出期限は6月4日(月)午後5時の予定です。  
日程は変更されることがありますので、ご了承ください。

また、「市議会だより」は、市民の方々からご要望もあつて発刊したということのようです。その当時は長俊英市長、松田



「よねざわ市議会だより」  
第100号発行に寄せて  
議会だより編集委員会  
委員長 佐藤 晃

清議長の時代でありました。それから、平均的に年4回発行し、第100号を迎えたのです。議会だより編集委員会は、私たち6名の議員で構成され、1回の発行に対して3〜4回の協議を重ね、2年任期で編集を続けてきました。第100号という記念すべき発行の委員長であった事は、大変な光栄と感じております。これを機会に、市民の方々と市議会議員との相互理解と結びつきを更に一層深められることを御祈念申し上げご挨拶いたします。

### あとがき

本紙市議会だよりが、昭和58年に第1号が発行されてから、今回で記念すべき第100号となった。

市制施行100年以上の本市で、その発行年数が24年と、正直、意外と若いことに驚く。今回の勇退議員の中には、7期28年間議員の方が2名おられる。

昭和58年ごろといえばオイルショックや円高を乗り越え、日本経済がバブル上昇に向かった時代である。議員や、議会活動の内容を広く市民の皆さんに理解していただく、市民サービス充実の一環として始まったが、今では、なくてはならない情報源として、その役割、責務は年々ますます大きくなっている。

定数4減の中、24の新議席が確定し、秋の市長選をも睨み、本紙市議会だよりからは、目が離せない。

今後、より紙面を充実させ、市民の皆さんの機関紙として、編集委員は今後も頑張っています。

(Y・Y)

